
バージョンアップマニュアル

このたびは、本製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。

本書では、新しいバージョンで対応した新機能の説明を記載しています。

The logo features the text "What's New" in a bold, red, sans-serif font. The word "What's" is smaller and positioned to the left of "New". The text is set against a light blue background with a subtle gradient and a soft shadow effect, giving it a three-dimensional appearance.

1 バージョンアップマニュアル



G090209

新しいバージョンで追加になった新しい機能の紹介や、品質向上項目を、バージョンごとに記載しています。ご覧になりたいバージョンの「+」をクリックしてください。

■ Ver.1.6→Ver.2について

◆ 機能追加

[☞「追加機能一覧」](#)

2 Ver.1.6→Ver.2について

2.1 追加機能一覧

番号	項目
1	☞「2.1.1 ホットフォルダ (オプション) を使用する場合、EZ Controllerを起動したときに同時にホットフォルダも起動できるようになりました。また、EZ Controllerの「オーダー画面」からもホットフォルダを起動できるようになりました。」
2	☞「2.1.2 110AFC-II、135/240AMC-II、MFC (3つともスキャナー (HS-1800) のオプション) を使用してスキャンした画像データをEZ Controllerで処理できるようになりました。」
3	☞「2.1.3 T15/LS連結ユニットを装備したスキャナー (LS-1100) でスキャンした画像データをEZ Controllerで処理できるようになりました。」
4	☞「2.1.4 お手持ちのパソコンがEZ Controllerを使用するための動作環境を満たしているか、診断ツールを使って確認できるようになりました。」
5	☞「2.1.5「エディット」画面で画像の編集をするとき、前画像の補正値をそのまま次の画像でも有効にすることができるようになりました。」
6	☞「2.1.6「エディット」画面で画像の編集をするとき、次の画像を自動で画像挿入位置に挿入することができるようになりました。」

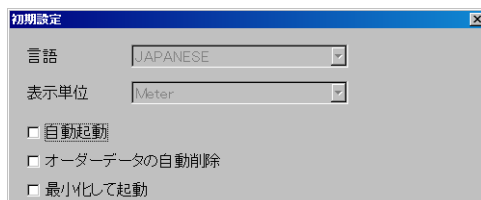
2.1.1 ホットフォルダ (オプション) を使用する場合、EZ Controllerを起動したときに同時にホットフォルダも起動できるようになりました。また、EZ Controllerの「オーダー画面」からもホットフォルダを起動できるようになりました。

ホットフォルダの自動起動

ホットフォルダの「初期設定」画面で、「自動起動」を (チェックあり) にしておくと、EZ Controllerを起動したときに同時にホットフォルダも起動することができます。

- ・ 詳細については、「ホットフォルダ 取扱説明書」参照

(例) ホットフォルダの「初期設定」画面



S078970V2

EZ Controllerの「オーダー画面」からホットフォルダを起動

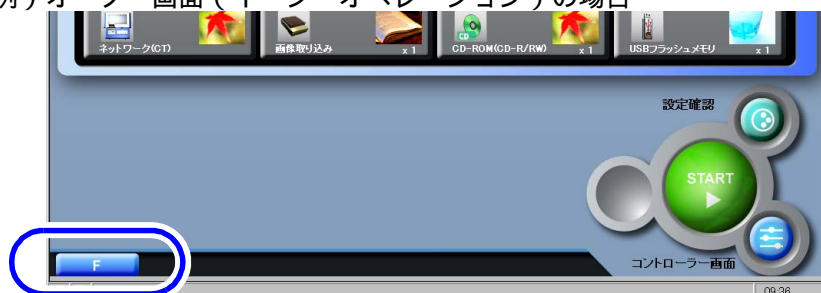
「オーダー画面 (ノーマルオペレーション)」、「オーダー画面 (イージーオペレーション)」のどちらの画面からも起動することができます。

ホットフォルダをインストールしている状態であれば、オーダー画面の左下に「F」ボタンが表示されます。

- ・ 詳細については、「ホットフォルダ 取扱説明書」参照

1. 「F」ボタンをクリックします。

(例) オーダー画面 (イージーオペレーション) の場合

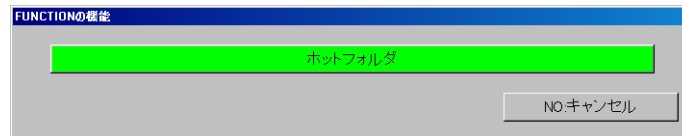


「FUNCTIONの機能」画面が表示されます。

S5021-00-UM09V2

2.「ホットフォルダ」ボタンをクリックします。

(例)「FUNCTIONの機能」画面



S090112V2

ホットフォルダが起動します。

2.1.2 110AFC-II、135/240AMC-II、MFC (3つともスキャナー (HS-1800) のオプション) を使用してスキャンした画像データをEZ Controllerで処理できるようになりました。

110AFC-IIとは、110フィルムを処理できるオートフィルムキャリア、135/240AMC-IIとは、マウントフィルムを処理できるオートマウントキャリア、MFCとは、135、IX240、110、120フィルムなどを処理できるマルチフィルムキャリアです。
これらのフィルムキャリアでスキャンした画像データをEZ Controllerに取り込み、プリント、記憶メディアへの画像保存をすることができます。

- ・ スキャナー (HS-1800) とこれらフィルムキャリアの詳細については、「HS-1800 スタートガイド、110 オートフィルムキャリア-II 取扱説明書、135/240オートマウントキャリア-II 取扱説明書、MFC 取扱説明書」参照

2.1.3 T15/LS連結ユニットを装備したスキャナー (LS-1100) でスキャンした画像データをEZ Controllerで処理できるようになりました。

T15/LS連結ユニットは、QSF-T15 (フィルムプロセサー) とLS-1100 (スキャナー) とを連結するためのユニットです。T15/LS連結ユニットを取り付けることによって、QSF-T15 (フィルムプロセサー) から自動でLS-1100 (スキャナー) にフィルム (135フィルム) を搬送し、スキャンすることができます。
LS-1100でスキャンした画像データをEZ Controllerに取り込み、プリント、記憶メディアへの画像保存をすることができます。

- ・ 詳細については、「T15/LS連結ユニット 取扱説明書」参照

2.1.4 お手持ちのパソコンがEZ Controllerを使用するための動作環境を満たしているか、診断ツールを使って確認できるようになりました。

「EZ ControllerPC診断ツール」というツールを使用すれば、お手持ちのパソコンがEZ Controllerを使用するための動作環境を満たしているか確認することができます。
この診断ツールは、サービスマンの指示に従って使用してください。

2.1.5 「エディット」画面で画像の編集をするとき、前画像の補正値をそのまま次の画像でも有効にできるようになりました。

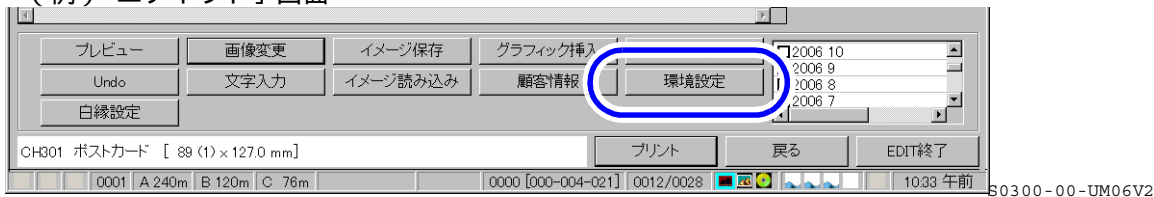
「エディット」画面で設定した補正値を、次の画像を編集するときにもそのまま有効にすることができます。
同一条件で連続して撮影した画像を編集する場合など、前画像での補正値を次の画像でも引き継ぐため、毎回同じような補正をする必要がありません。

設定手順

1.「エディット」画面を表示します。

2. 「環境設定」ボタンをクリックします。

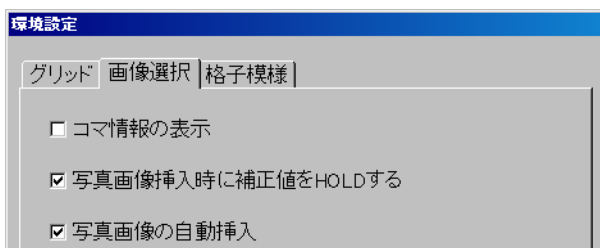
(例) 「エディット」画面



「環境設定」画面が表示されます。

3. 「画像選択」タブをクリックし、設定をします。

(例) 「環境設定」画面



S0300-00-UM53V2

項目	説明
写真画像挿入時に補正値をHOLDする	<p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にすると、前画像での補正値を次の画像でも有効にします。 ただし、すべての補正値を次の画像に引き継ぐことはできません。次の画像に引き継ぐ補正値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YMCD補正 • ズーム率 • DSA補正 • トーンカーブ補正 • カラー変換 • 画像回転 • 手動レンズ収差補正 • 左右反転 • 上下反転 • デジタル画像の自動補正のON/OFF • シーン別補正 • ソフトフィルター (種類と強度のみ) • 画像の貼り付け位置 (画像挿入後に移動した位置) • 証明写真プリント枠



重要

- 前画像と次に編集する画像のサイズが異なる場合は、補正値が正しく反映できないため、次の画像では、前画像の補正値は有効になりません。

4. 「設定」ボタンをクリックします。

以上で設定は終わりです。

2.1.6 「エディット」画面で画像の編集をするとき、次の画像を自動で画像挿入位置に挿入することができるようになりました。

「エディット」画面で1つの画像の編集が終わった後、自動で次の画像を画像挿入位置に挿入することができます。毎回、画像を挿入する手間を省くことができます。

設定手順

1. 「エディット」画面を表示します。

2. 「環境設定」ボタンをクリックします。

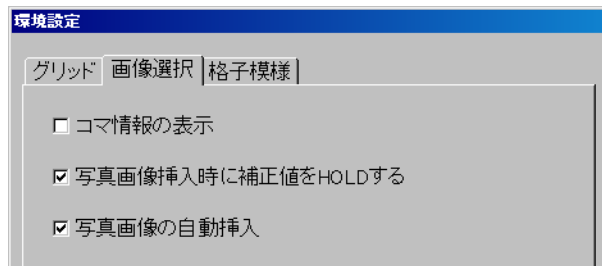
(例) 「エディット」画面



「環境設定」画面が表示されます。

3. 「画像選択」タブをクリックし、設定をします。

(例) 「環境設定」画面



S0300-00-UM53V2

項目	説明
写真画像の自動挿入	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックあり) にすると、以下のようなタイミングで、次の画像を自動で画像挿入位置に挿入します。 <ul style="list-style-type: none"> ・「エディット」画面を起動したとき ・「エディット」画面で編集を終え、「プリント」ボタンをクリックしたとき ・「エディット」画面から「プレビュー」画面を表示し、「プレビュー」画面で、「プリント」ボタンをクリックしたとき 画像を複数挿入できるテンプレートを使用する場合は、テンプレート情報にある画像挿入順序に従って挿入されます。

4. 「設定」ボタンをクリックします。

以上で設定は終わりです。

MEMO

(ご自由にお使いください)